

日本看護系大学協議会 災害支援対策委員会  
被災状況調査報告（2023年度）



一般社団法人日本看護系大学協議会  
災害支援対策委員会

## 目 次

はじめに	2
1. 2023年5月5日14時42分頃の石川県能登地方の地震による被災状況調査	2
2. 2023年6月に発生した台風2号ならびに線状降水帯等の大雨による被災状況調査	3
【関西・近畿ブロック】	3
【中部ブロック】	5
【関東（東京を除く）ブロック】	7
3. 2023年7月の大雨による被災状況調査	9
4. 2023年7月14日から大雨による被災状況調査	11
5. 2023年台風7号による被災状況調査	13
6. 令和6年能登半島地震（1月1日発生）による被災状況調査	15

## はじめに

本報告では、2023 年度に生じた災害に関する関連調査として実施した結果を収載しています。本年度の主だった災害は 6 件であり、そのうち 2 件は石川県能登地方に発生した地震による被害を含みます。昨年度に続き、5 月 5 日に地震が発生し、さらに新年を迎えた 2024 年 1 月 1 日に大きな地震が観測されました。特に後者は、人々の生活に著しい影響を及ぼす甚大な被害をもたらしました。また、大雨による被害も相次ぎ、さまざまな種類の災害に見舞われた一年となりました。以下に、各災害に関する調査状況を示します。

### 1. 2023 年 5 月 5 日 14 時 42 分頃の石川県能登地方の地震による被災状況調査

2023 年 5 月 5 日 14 時 42 分頃、石川県能登地方を震源とする地震 (M6.5) (令和 5 年奥能登地震) が発生しました<sup>1-5)</sup>。石川県珠洲市で最大震度 6 強を観測したほか、能登町で震度 5 強、輪島市で震度 5 弱を観測し<sup>2,3)</sup>、福井県から新潟県にかけて広く震度 4 の揺れが観測されました。なお、この地域では昨年 6 月 19 日にも M5.4 の地震が発生し、珠洲市で震度 6 弱を観測しています<sup>5)</sup>。

本調査の対象は中部ブロックで、具体的な調査方法等の詳細は以下の通りです。

#### I. 調査方法

1. 対象：2023 年度災害連携教員 中部ブロック (石川県のみ) 5 校
2. データ収集方法：Google フォームを用いた Web 調査
3. 期間：2023 年 5 月 12 日 (金) ~ 2023 年 5 月 26 日 (金)

#### II. 結果

1. 回答数：4 校 (回収率 80%)

ブロック	回答校数	内訳
中部ブロック	4 校	石川県 4 校

2. 「2023 年 5 月 5 日 14 時 42 分頃の石川県能登地方の地震」による被害について

被害の有無	学校数 (%)
被害がなかった	2 校 (50%)
被害があった	2 校 (50%)

3. 被害の内容

設問項目	被害・影響状況
建物への被害	学生の実家の壁にヒビが入ったなど
実習の継続	震源地の実習施設が受け入れ中止
その他、入学、卒業、大学の行事、学生、教育・研究、教職員に対する影響	・教員の家族や学生の実家等が少なからず被災 ・県や県看護協会等と連絡を密に取りながら、中長期的に大学ができる被災地支援を検討・準備

## 2. 2023年6月に発生した台風2号ならびに線状降水帯等の大雨による被災状況調査

本調査は、5月20日にグアム南東で発生し、日本列島へ接近した台風（国際名：Mawar、マーワー）の影響に伴い実施されました。台風は6月2日に西日本から東日本にかけて線状降水帯を伴い、特に沖縄や奄美地方で大雨をもたらした<sup>6)</sup>。

また、この台風により人的被害は49名、住家被害は8,045棟に達し、静岡県、埼玉県、茨城県、和歌山県では災害救助法が適用されました<sup>7)</sup>。

本調査の対象は、関西・近畿ブロック、中部ブロック、関東（東京を除く）ブロックであり、具体的な調査方法等の詳細は以下の通りです。

### 【関西・近畿ブロック】

#### I. 調査方法

1. 対象：2023年度災害連携教員 関西・近畿ブロック 54校
2. データ収集方法：Googleフォームを用いたWeb調査
3. 期間：2023年6月7日（水）～2023年6月27日（火）

#### II. 結果

1. 回答数：42校（回収率77.8%）

ブロック	回答校数	内訳
関西・近畿ブロック	42校	三重県3校、滋賀県2校、京都府8校、大阪府12校、兵庫県13校、奈良県1校、和歌山県3校

2. 「2023年6月に発生した台風2号および線状降水帯等の大雨」による被害について

被害の有無	学校数（%）
被害がなかった	15校（35.7%）
被害があった	27校（64.3%）

3. 被害の内容

設問項目	被害・影響状況
建物への被害	<ul style="list-style-type: none"><li>・教室の雨漏り</li><li>・学生の自宅の床上浸水、あるいは浸水被害</li></ul>
電気等（ライフライン）の被害	<ul style="list-style-type: none"><li>・午後に大学が一時的に停電</li><li>・Zoom中も停電が発生し、バッテリーによる稼働</li><li>・停電・断水</li></ul>
授業・実習の継続	<b>【授業（講義）関連】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・交通機関の運転見合わせのため休講</li><li>・前日にオンライン授業、休講（大学でのオンライン授業の経験がない1年生）を決定し、対面授業を中止</li><li>・登校できない学生も少数あり、交通機関の計画運休等の情報よりオンデマンド授業に切り替え、登校学</li></ul>

<p>授業・実習の継続（続き）</p>	<p>生は帰宅</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通機関の遮断により授業・実習の継続不可</li> <li>・交通遮断の可能性があり一部で授業形態変更（Zoom）</li> <li>・授業録画動画配信の準備</li> <li>・補講でオンデマンド授業の実施</li> <li>・JR の計画運休のため午後の授業を一部変更</li> <li>・午後の授業を 30 分で切り上げ課題自宅学習に切り替え</li> </ul> <p><b>【実習・演習関連】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演習の試験が予定されていたが午後から休講</li> <li>・実習オリエンテーションは午後から午前に振替</li> <li>・午後からの学内実習オリエンテーションを午前に振替</li> <li>・午後から予定されていた次クール実習オリエンテーションを翌日に延期</li> <li>・午後から休校、実習は半日で終了、学生への速やかな帰宅の促し</li> <li>・計画運休により学生が安全に帰宅できるよう実習時間を短縮</li> <li>・電車の運休が予測された実習場所で終了時間を繰り上げ、学生を早めに帰宅させた</li> <li>・実習の終了時間を一部施設で繰り上げ</li> </ul> <p><b>【学生対応・安全確保・移動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電車の一部区間が不通となり帰宅困難</li> <li>・指導教員が、電車の運行駅まで学生を送った</li> <li>・JR の運転取り止め（予告あり）があり未然に自主的に自宅待機した学生が多数発生</li> </ul> <p><b>【情報発信】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学側は特に休校などの連絡を発信なし</li> </ul>
<p>学生・教職員の登下校への影響</p>	<p><b>【交通機関・インフラ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通遮断により電車が一時止まった（4 時間停車等）</li> <li>・電車の運休、道路が冠水して通行止め</li> <li>・JR が盛土の崩壊</li> </ul> <p><b>【移動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通遮断により学生の登学不可</li> <li>・一部の交通遮断により教職員の登下校時間が変更</li> </ul> <p><b>【帰宅】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通機関の運転見合わせのため帰宅</li> <li>・学生の当日帰宅不可</li> <li>・数名の学生および教員が当日に帰宅困難</li> <li>・交通機関の遮断により帰宅困難</li> </ul>

学生・教職員の登下校への影響 (続き)	<b>【個別の生活環境による移動不能】</b> ・自宅周辺が水浸しで家から出られなかった
その他、入学、卒業、大学の行事、 学生、教育・研究、教職員に対する影響	<b>【講義・授業関連】</b> ・午後からの講義休講のため、振替授業の調整 ・授業録画動画配信や演習の補講・教職員も午後は早めに帰宅するよう指示 ・代替として日曜日に実施、授業日（翌週）調整、変更 <b>【学会・会議】</b> ・翌日開催の学会出席予定が新幹線の停止により欠席・午後からの会議が無くなった ・会議などの予定がその是非で混乱、教員個人の判断で帰宅するケースが目立ち、会議は未開催 <b>【通勤・勤務】</b> ・教職員、電車の利用教職員の通勤の遅延・影響 ・教職員も14時までには下校

## 【中部ブロック】

### I. 調査方法

1. 対象：2023年度災害連携教員 中部ブロック（愛知県・静岡県・山梨県のみ）24校
2. データ収集方法：Googleフォームを用いたWeb調査
3. 期間：2023年6月15日（木）～2023年6月26日（月）

### II. 結果

1. 回答数：17校（回収率70.8%）

ブロック	回答校数	内訳
中部ブロック（愛知県・静岡県・山梨県のみ）	17校	愛知県11校、静岡県4校、山梨県2校

2. 「2023年6月に発生した台風2号および線状降水帯等の大雨」による被害について

被害の有無	学校数（%）
被害がなかった	6校（35.3%）
被害があった	11校（64.7%）

### 3. 被害の内容

設問項目	被害・影響状況
授業・実習の継続	<p>【前日までの決定・周知】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前日に学生の登校は中止</li> <li>・1日休講の決定で、学生に周知</li> </ul> <p>【授業関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対面講義は休講、一部講義をオンラインあるいは休講</li> <li>・2限目以降休講</li> <li>・午後からの授業休講、学生の帰宅を早めた</li> <li>・4限目、あるいは5限目以降の休講</li> <li>・自宅学習へ切り替え</li> <li>・休講となった講義は予定を変更し実施</li> <li>・JRの運休、路線バスの運休、高速道路の通行止めにより授業を早めに終了した科目があり</li> </ul> <p>【実習関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習実施</li> <li>・1日、あるいは午後から実習中止</li> <li>・オンライン実習に切り替え、学生および実習施設に連絡</li> <li>・帰宅困難の可能性</li> <li>・実習指導者が避難所開設準備のため指導困難</li> </ul>
学生・教職員の登下校への影響	<p>【教職員の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰宅困難は予測された教職員は、在宅勤務・早退</li> <li>・タクシーを利用し帰宅</li> </ul> <p>【学生の帰宅・移動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰宅困難、親・家族による迎え</li> <li>・学生数名が大学最寄り駅で足止め</li> <li>・学生が友人の家に宿泊</li> <li>・駅周辺ホテルへの宿泊</li> </ul> <p>【交通インフラ・道路状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般道、高速道とも通行止め、冠水等</li> <li>・自宅周囲の冠水、エンストした車の散在等</li> <li>・所有の車両が水没</li> </ul> <p>【大学・交通機関の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス臨時便の増発</li> <li>・大学での宿泊対応の準備</li> </ul>
その他、入学、卒業、大学の行事、学生、教育・研究、教職員に対する影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・止まった電車沿線の学生、教員は帰宅時間など</li> <li>・午後の授業・演習の休講の振替の調整</li> <li>・公欠の対応、大学側の対応が困難</li> <li>・大学関連学会の会合が急遽中止</li> </ul>

#### 4. その他

- ・今回の災害状況を大学としては把握するアクションがなかった。

### 【関東（東京を除く）ブロック】

#### I. 調査方法

1. 対象：2023年度災害連携教員 関東（東京を除く）ブロック 54校
2. データ収集方法：Googleフォームを用いたWeb調査
3. 期間：2023年6月8日（木）～2023年6月16日（金）

#### II. 結果

1. 回答数：27校（回収率50.0%）

ブロック	回答校数	内訳
関東（東京を除く） ブロック	27校	茨城県1校、栃木県4校、群馬県7校、埼玉県5校、 千葉県1校、神奈川県9校

#### 2. 「2023年6月に発生した台風2号および線状降水帯等の大雨」による被害について

被害の有無	学校数（%）
被害がなかった	23校（85.2%）
被害があった	4校（14.8%）

#### 3. 被害の内容

設問項目	被害・影響状況
授業・実習の継続	<b>【授業関連】</b> ・17時開始の授業を中止 <b>【実習関連】</b> ・施設周囲の道路の冠水のため実習開始が遅れた ・学生の自宅周辺が冠水したため、水が引いた後に実習地に向かい、時間を変更して実習を実施 ・施設が臨時休館となり実習中止 <b>【個別への影響】</b> ・電車などの遅延、気候変動による体調不良等、申し出に対し事務で公欠扱い
学生・教職員の登下校への影響	<b>【交通機関・帰宅】</b> ・交通機関の乱れ（帰宅の遅れ） ・交通機関の運休（欠席届の提出にて対処） ・教員の帰宅不可、研究室での宿泊

<p>その他、入学、卒業、大学の行事、学生、教育・研究、教職員に対する影響</p>	<p><b>【オープンキャンパス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンキャンパスを開催したが交通運休が続いており予定学生の登校不可、来場者のキャンセルも多数</li> </ul> <p><b>【公開・出張講座】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全域に避難指示が出ていたため、公開講座を中止</li> <li>・公民館を会場とした講座を予定していたが、避難所となったため中止</li> </ul>
---	--

#### 4. JANPU への希望する支援について

- ・実際に被害があったらまず近くの大学等の実際の支援も考慮すべき
- ・小ブロックでの対応が必要

### 3. 2023年7月の大雨による被災状況調査

2023年7月7日から10日にかけて、西日本から東北地方にかけて梅雨前線が停滞し、各地で大雨となりました<sup>8)</sup>。特に10日には、気象庁が福岡県と大分県を対象に大雨特別警報を発表するほどの記録的な大雨となりました<sup>8)</sup>。

この一連の大雨により、東京消防庁によりますと、7月18日8時30分時点で13名の方がお亡くなりになり、行方不明者も発生しています<sup>8)</sup>。また、住家被害では、16棟が全壊、49棟が半壊したほか、2,800棟を超える浸水被害が確認されています<sup>8)</sup>。

#### I. 調査方法

1. 対象：2023年度災害連携教員 九州ブロック（佐賀県・福岡県・大分県のみ）18校
2. データ収集方法：Googleフォームを用いたWeb調査
3. 期間：2023年7月18日（火）～2023年7月31日（月）

#### II. 結果

1. 回答数：10校（回収率55.6%）

ブロック	回答校数	内訳
九州ブロック（佐賀県・福岡県・大分県のみ）	10校	佐賀県1校、福岡県8校、大分県1校

#### 2. 「2023年7月の大雨」による被害について

被害の有無	学校数（%）
被害がなかった	6校（60.0%）
被害があった	4校（40.0%）

#### 3. 被害の内容

設問項目	被害・影響状況
建物への被害	・学生寮の床上浸水（1階で被害）
授業・実習の継続	【講義関連】 ・対面の講義は1日中止 ・終日休講 【実習関連】 ・実習を1日中止 【大学】 ・全学休講
学生・教職員の登下校への影響	【交通インフラ】 ・高速道路の崖崩れ等に伴う通行止めによる一般道の渋滞に遭遇 ・JRおよび大学に乗り入れているバスの運休等により学生及び教職員が登校不可 ・交通機関の乱れは翌日まで継続

学生・教職員の登下校への影響 (続き)	<b>【登校・移動・勤務】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・実習の出先の駅で数時間、電車を待つ事態</li><li>・翌日も同様、交通事情による遅刻・欠席</li><li>・教職員は有給休暇を用いた帰宅</li></ul>
------------------------	--

#### 4. 2023年7月14日からの大雨による被災状況調査

2023年7月14日から7月16日にかけて、梅雨前線が東北北部に停滞し、秋田県では記録的な大雨となり、白神山地や太平山地を中心に総降水量が400ミリを超える豪雨となりました<sup>9)</sup>。この影響で、秋田市中心部を流れる太平川や新城川、五城目町の内川川・馬場目川など県内18の河川が氾濫したほか、各地で土砂災害が発生しました<sup>10)</sup>。これらの被害により、人的被害は14名、住家被害は7,380棟に及びました<sup>11)</sup>。

##### I. 調査方法

1. 対象：2023年度災害連携教員 北東北ブロック（秋田県・岩手県・青森県のみ）11校
2. データ収集方法：Googleフォームを用いたWeb調査
3. 期間：2023年7月31日（月）～2023年8月10日（木）

##### II. 結果

1. 回答数：9校（回収率81.8%）

ブロック	回答校数	内訳
北東北ブロック（秋田県・岩手県・青森県のみ）	9校	秋田県3校、岩手県3校、青森県3校

##### 2. 「2023年7月の大雨」による被害について

被害の有無	学校数（%）
被害がなかった	6校（66.7%）
被害があった	3校（33.3%）

##### 3. 被害の内容

設問項目	被害・影響状況
建物への被害	<ul style="list-style-type: none"><li>・一部天井からの雨漏り</li><li>・床上浸水</li></ul>
授業・実習の継続	<p>【登校・学生事情】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・交通遮断で2日間は登校不可の学生が半数近くいた</li><li>・学生のアパートが被災し実家へ帰省したため登校が困難</li></ul> <p>【学内運用】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大雨当日の15日（土）午後、臨時休館</li><li>・7月18日（火）～21日（金）の期間、全授業が休講</li></ul> <p>【学修】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・実習施設の被災、または、被災への対応で多忙にて実習が困難で、代替演習</li><li>・7月18日（火）～21日（金）の予定実習の日程繰り下げ</li></ul> <p>【確認事項】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・館内にいた者のその後の対処について不明</li></ul>

<p>学生・教職員の登下校への影響</p>	<p><b>【登下校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学周囲が増水し、教員数名が1日帰宅困難</li> <li>・学生も交通遮断にて数日間、登校困難</li> <li>・道路の崩落や鉄道の枕木流出により遠距離通学の学生が登校不可</li> </ul> <p><b>【物的被害】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車の浸水など</li> </ul>
<p>その他、入学、卒業、大学の行事、学生、教育・研究、教職員に対する影響</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業のテキストや資料が流失</li> </ul>

## 5. 2023 年台風 7 号による被災状況調査

本調査は、2023 年台風 7 号（国際名：LAN、ラン）に関するものです。同台風は 8 月に発生し、日本に上陸した唯一の台風で、鳥取県、岡山県、香川県及び岩手県では平年の 8 月の月降水量の 2 倍を超える大雨となり、大きな被害を及ぼしたことが報告されています<sup>12)</sup>。

調査の対象地域は関西・近畿ブロックとし、具体的な調査方法等は以下の通りです。

### I. 調査方法

1. 対象：2023 年度災害連携教員 関西・近畿ブロック 54 校
2. データ収集方法：グーグルフォームを用いた Web 調査
3. 期間：2023 年 8 月 21 日（月）～2023 年 8 月 31 日（木）

### II. 結果

1. 回答数：43 校（回収率 79.6%）

ブロック	回答校数	内訳
関西・近畿ブロック	43 校	三重県 4 校、滋賀県 1 校、京都府 8 校、大阪府 12 校、兵庫県 12 校、奈良県 3 校、和歌山県 3 校

### 2. 2023 年台風 7 号による被害について

被害の有無	学校数 (%)
被害がなかった	33 校 (76.7%)
被害があった	10 校 (23.3%)

### 3. 被害の内容

設問項目	被害・影響状況
建物への被害	・ 閉め忘れていた窓から雨のふきこみ
電気等（ライフライン）の被害	・ 8 月 15 日午前中に停電
授業・実習の継続	【意思決定・計画的対応】 ・ 2 日前に授業予定の変更 ・ 計画中止（振替） 【授業関連】 ・ 交通遮断等により登校できずオンライン授業に変更 ・ 大学そのものは一斉閉鎖 【実習関連】 ・ 実習施設の職員が通勤できない可能性もしくは学生が来られない可能性があり計画的に 1 日中止 ・ 交通遮断のため、実習が不可 ・ 暴風警報のため実習が中止

学生・教職員の登下校への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR 線で運休や倒竹による運転見合わせが一時あり</li> <li>・ JR が計画運休</li> <li>・ 計画運休で出勤に影響が生じた教員が休暇</li> </ul>
その他、入学、卒業、大学の行事、学生、教育・研究、教職員に対する影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通の乱れ</li> </ul>

#### 4. その他

- ・ 学生は夏季休暇中であり、また多くの教員が夏季休暇の時期であったことから、大きな影響はなし。
- ・ 自主学习などのため大学に来ている学生向けに大学全体の方針として一斉にメール配信。
- ・ 大学は夏期休暇に入っており、キャンパス内活動を閉鎖。

## 6. 令和6年能登半島地震（1月1日発生）による被災状況調査

石川県能登地方では、2020年12月頃から地震活動が活発化しており、活動当初は比較的規模の小さな地震が継続していたが、その後、2022年6月にマグニチュード（M）5.4、2023年5月にM6.5、2024年1月にM7.6、2024年6月にM6.0、2024年11月にM6.6の地震が相次いで発生しました。

M7.6の地震の発生域では地震活動は徐々に低下傾向にあるものの、2024年6月に震度1以上を観測した地震が数回発生するなど、なお活動は継続しています<sup>13)</sup>。

これまでの最大規模の地震は、2024年1月1日のM7.6（深さ16km、輪島市および羽咋郡志賀町で震度7）（令和6年能登半島地震）であり、甚大な被害が報告されました<sup>13-15)</sup>。調査の対象地域は全国とし、具体的な調査方法等は以下の通りです。

### I. 調査方法

1. 対象：JANPU 全会員校 299校
2. データ収集方法：グーグルフォームを用いたWeb調査
3. 期間：2024年1月15日（月）～2024年1月29日（月）

### II. 結果

1. 回答数：196/299校中（回収率65.6%）

ブロック	回答校数	回答校内訳
北海道・東北ブロック	26校/33校中 (78.8%)	北海道9校、青森県5校、岩手県3校、宮城県3校、秋田県3校、山形県2校、福島県1校
関東（東京以外）ブロック	40校/61校中 (65.6%)	茨城県4校、栃木県3校、群馬県3校、埼玉県6校、千葉県13校、神奈川県11校
東京ブロック	16校/26校中 (61.5%)	16校
中部ブロック	37校/57校中 (64.9%)	石川県2校、新潟県3校、福井県4校、富山県1校、山梨県1校、長野県4校、岐阜県4校、静岡県3校、愛知県15校
関西・近畿ブロック	35校/56校中 (62.5%)	三重県4校、滋賀県1校、京都府6校、大阪府10校、兵庫県8校、奈良県4校、和歌山県2校
中国・四国ブロック	21校/32校中 (65.6%)	鳥取県1校、島根県2校、岡山県4校、広島県5校、山口県1校、徳島県2校、香川県2校、愛媛県3校、高知県1校
九州・沖縄ブロック	21校/34校中 (61.8%)	福岡県8校、佐賀県2校、長崎県2校、熊本県2校、大分県1校、宮崎県2校、鹿児島県1校、沖縄県3校

## 2. 「令和6年能登半島地震」による被害について

被害の有無	学校数 (%)
被害がなかった	184校 (93.9%)
被害があった	12校 (6.1%)

## 3. 被害の内容

設問項目	被害・影響状況
建物への被害	<p><b>【大学施設】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育棟壁の一部剥がれ落ちやひび割れ</li> <li>・天井や壁の複数個所に亀裂、はがれ、床の隆起</li> </ul> <p><b>【学内設備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品模型が展示されているガラス製陳列棚が倒壊、破損</li> <li>・一部教員の研修室でパソコンや書籍が落下</li> <li>・研究室のパーテーションの一部倒壊、PCディスプレイの破損</li> <li>・倉庫内のスチール製の書架3台が変形</li> <li>・図書館の書架からの本の落下等</li> </ul> <p><b>【学外・私有財産】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学そのものの建物等の被害はなかったが学生の実家の住居が半壊や全壊の被害</li> <li>・教員の家屋の倒壊</li> <li>・学生の家屋の倒壊等</li> <li>・帰省中の学生の家が半壊</li> <li>・北陸出身（石川県、富山県）学生の実家に被害</li> <li>・石川県出身の院生の自宅が損壊</li> <li>・家財の転倒・損壊や屋根の損傷があり、2階が水浸し</li> <li>・被災(自宅の破損)</li> <li>・学生が被災（建物倒壊、ライフラインのストップ、交通遮断等）</li> <li>・一部あったと聞いているが軽度</li> </ul> <p><b>【背景事象】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・震度5弱と強い揺れと液状化現象による被害</li> </ul>
電気等（ライフライン）の被害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフラインのストップ</li> </ul>
授業・実習の継続	<p><b>【授業関連】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生が登校できないため、授業開始の1月4日からハイブリッド（対面とZOOM）とオンデマンドで対応</li> <li>・登校できない学生への対応、戻ることを恐れる学生への対応のため、1週間はオンライン</li> </ul> <p><b>【学修環境】</b></p>

<p>授業・実習の継続 (続き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンの回収、あるいはオンライン授業をしたくとも wi-fi の機能が働かず受講が不可</li> <li>【学修支援】</li> <li>・大学の授業を録画しておいてオンデマンドで視聴できるよう整備</li> <li>【授業出席の配慮】</li> <li>・正月で帰省していた学生で 1 月 4、5 日の授業に出席できない学生に対して欠席等を配慮</li> </ul>
<p>学生・教職員の登下校への影響</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通（JR）が一部使用できない</li> </ul>
<p>その他、入学、卒業、大学の行事、学生、教育・研究、教職員に対する影響</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【学生の心身・学修への影響】</li> <li>・学生の中に精神的に不安定になり実習などが遂行できるか懸念される学生</li> <li>・怖い体験をしてメンタル不調になり、帰省した学生あり（授業欠席 1 週間）</li> <li>・金沢市出身の院生も、不眠が続くなど心の不安を抱えている様子</li> <li>・学生が数名、家屋の倒壊等で避難所生活</li> <li>【教職員の被災・勤務】</li> <li>・教職員の中にも被災者がおり学内運営に参加いただけるかどうか十分配慮が必要</li> <li>・教員が倒壊した家屋に閉じ込められ 3 時間後に救出</li> <li>【大学の対外支援・社会貢献】</li> <li>・日本赤十字社県支部からの協力要請があり、職員による発災直後から現在に至るまで、救援物資の運搬、県支部への派遣、県支部の災害対策本部業務休日支援を実施</li> <li>・学生の実家の被害状況によっては授業料の減免予定</li> <li>・被災者が入試受験する場合、何らかの影響の可能性</li> </ul>

#### 4. その他・JANPU への支援の要請について

- ・一部授業に参加できないあるいは実習を遂行することができない学生に対してどのように学生の学びが保証できるように支援を行っていくか検討段階
- ・課題となるのはむしろ 4 月からの保健師教育課程の実習地として例年通りの実施が困難となることが予測
- ・医療機関で実習する予定の助産師教育課程においても影響を受ける可能性があり
- ・今後災害のフェーズが変わり慢性期になっていくに従って現れてくるであろう学生教職員の心身の反応が気になり
- ・被害支援を行ってきた経験豊富な看護系大学協議会の加盟校による助言や実質的なサポートを得たい
- ・看護系大学・看護専門学校等の養成機関における被害状況によっては、物資（書籍・演習用の物品・文具等）の支援を行いたい

## 5. 安否確認について

### 5-1. 学生・教職員への安否確認の有無

安否確認の有無	学校数 (%)
安否確認を行った (行っている)	140 校 (71.4%)
安否確認を行わなかった (行っていない)	38 校 (19.4%)
その他	18 校 (9.2%)

### 5-2. 学生・教職員への安否確認の有無 (ブロック別に集計)

ブロック	行った (行っている)	行わなかった (行っていない)	その他
北海道・東北ブロック (26 校)	16 校 (61.5%)	5 校 (19.2%)	5 校 (19.2%)
関東 (東京以外) ブロック (40 校)	30 校 (75.0%)	7 校 (17.5%)	3 校 (7.5%)
東京ブロック (16 校)	15 校 (93.8%)	1 校 (6.3%)	-
中部ブロック (37 校)	26 校 (70.3%)	8 校 (21.6%)	3 校 (8.1%)
関西・近畿ブロック (35 校)	27 校 (77.1%)	5 校 (14.3%)	3 校 (8.6%)
中国・四国ブロック (21 校)	14 校 (66.7%)	4 校 (19.0%)	3 校 (14.3%)
九州・沖縄ブロック (21 校)	12 校 (57.1%)	8 校 (38.1%)	1 校 (4.8%)

### 5-3. 「その他」の内容 (自由記述)

- ・学生のみ安否確認を行った。(2 校)
- ・被災地に連絡先のある学生に個別に連絡した。
- ・実家が被災地の学生に対して、個別で安否確認を行った。
- ・実家等の被害確認を行った。
- ・学生は保証人 (実家と推測) の住所を調べ、被災地域の該当者がいないことを確認した。教職員への安否確認は行っていない。
- ・大学全体で、被災地域に実家がある学生に、状況確認を行った。看護学部の学生には該当者がいなかった。
- ・実家が当該地域・近郊の学生・教員に連絡をとった。
- ・震度の大きかった県の出身者について限定して行った。
- ・石川県、富山県、福井県、新潟県の出身学生のみ安否確認、被害状況の確認を行った。
- ・北陸 3 県に住所又は帰省先のある学生に被害の有無を問い合わせた。
- ・被害地域出身の学生がいないことを確認している。

(続き)

- ・安否確認は行わなかったが、帰省先の実家も含めて被害状況があれば連絡するよう学生・教職員への連絡を行った。
- ・大学が主体となって教職員・学生の安否確認を行った。
- ・ゼミ担当学生の情報を教員から収集した。
- ・4日に被害があれば連絡するようにホームページに掲載した。
- ・被災状況の有無のみ調査。
- ・出身者はいない。

#### 5-4. 安否確認の方法に関する今後の課題等 (自由記述)

下記リンク参照

【ご報告】令和6年能登半島地震に関するJANPUの被害状況把握と対応の経過について (JANPUのホームページより)

<https://www.janpu.or.jp/2024/02/14/23844/>

#### 引用

- 1) 気象庁. (2023). 令和5年5月5日14時42分頃の石川県能登地方の地震について. 気象庁.  
<https://www.jma.go.jp/jma/press/2305/05a/202305051640.html>
- 2) 内閣府政策統括官(防災担当). (2023). 石川県能登地方を震源とする地震に係る被害状況等について(令和5年5月6日14:00現在). 内閣府.  
[https://www.bousai.go.jp/updates/r50505ishikawajishin/pdf/r50505ishikawajishin\\_01.pdf](https://www.bousai.go.jp/updates/r50505ishikawajishin/pdf/r50505ishikawajishin_01.pdf)
- 3) 国土交通省. (2023). 石川県能登地方を震源とする地震について(第15報). 国土交通省.  
<https://www.mlit.go.jp/common/001613428.pdf>
- 4) 総務省消防省. (2024). 能登半島沖を震源とする地震による被害及び消防機関等の対応状況(第24報). 総務省消防庁.  
<https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/20230505notohantouoki24.pdf>
- 5) 地震調査研究推進本部地震調査委員会. (2023). 2023年5月5日石川県能登地方の地震の評価(令和5年5月6日公表).  
[https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2023/20230505\\_ishikawa\\_1.pdf](https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2023/20230505_ishikawa_1.pdf)
- 6) 気象庁. (2023). 梅雨前線及び台風第2号による大雨(令和5年6月1日~6月3日)速報.  
<https://www.data.jma.go.jp/stats/data/bosai/report/2023/20230623/20230623.html>
- 7) 内閣府政策統括官(防災担当). (2023). 令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号による被害状況等について(令和5年6月8日9:30現在). 内閣府  
[https://www.bousai.go.jp/updates/r5typhoon2/pdf/r5typhoon2\\_02.pdf](https://www.bousai.go.jp/updates/r5typhoon2/pdf/r5typhoon2_02.pdf)
- 8) 内閣府. (2023). 令和5年梅雨前線による大雨に係る被害状況等について(令和5年7月18日8:30現在). 内閣府.  
[https://www.bousai.go.jp/updates/r5\\_06ooame/pdf/r5\\_06ooame\\_06.pdf](https://www.bousai.go.jp/updates/r5_06ooame/pdf/r5_06ooame_06.pdf)

- 9) 気象庁秋田地方気象台. (2023). 令和 5 年 7 月 14 日から 16 日の秋田県の記録的な大雨. 気象庁秋田地方気象台.  
[https://www.data.jma.go.jp/akita/data/saigai/pdf/saigai\\_20230714\\_16akita.pdf](https://www.data.jma.go.jp/akita/data/saigai/pdf/saigai_20230714_16akita.pdf)
- 10) 秋田県総務部危機管理監 (2024). 令和 5 年大雨災害の検証と今後の対応. 秋田県.  
[https://www.pref.akita.lg.jp/uploads/public/archive\\_0000082365\\_00/%E4%BB%A4%E5%92%8C%EF%BC%95%E5%B9%B4%E5%A4%A7%E9%9B%A8%E7%81%BD%E5%AE%B3%E3%81%AE%E6%A4%9C%E8%A8%BC%E3%81%A8%E4%BB%8A%E5%BE%8C%E3%81%AE%E5%AF%BE%E5%BF%9C.pdf](https://www.pref.akita.lg.jp/uploads/public/archive_0000082365_00/%E4%BB%A4%E5%92%8C%EF%BC%95%E5%B9%B4%E5%A4%A7%E9%9B%A8%E7%81%BD%E5%AE%B3%E3%81%AE%E6%A4%9C%E8%A8%BC%E3%81%A8%E4%BB%8A%E5%BE%8C%E3%81%AE%E5%AF%BE%E5%BF%9C.pdf)
- 11) 秋田県災害対策本部. (2023). 令和 5 年 7 月 14 日からの大雨による被害状況等について (第 46 報・令和 7 年 1 月 27 日 16 時 00 分現在). 秋田県ポータルサイト.  
<https://www.bousai-akita.jp/uploads/user/system/files/%E8%A2%AB%E5%AE%B3%E5%A0%B1%EF%BC%88%E7%AC%AC46%E5%A0%B1%EF%BC%89.pdf>
- 12) 内閣府 (2023). 令和 5 年台風第 7 号による被害状況等について (令和 5 年 8 月 17 日 8 時 30 分現在). 内閣府.  
[https://www.bousai.go.jp/updates/r5typhoon7/pdf/r5typhoon7\\_02.pdf](https://www.bousai.go.jp/updates/r5typhoon7/pdf/r5typhoon7_02.pdf)
- 13) 地震調査研究推進本部地震調査委員会 (2025). 「令和 6 年能登半島地震」に関する「地震調査委員長見解」. 地震調査研究推進本部. [https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2025/2024\\_noto\\_kenkai.pdf](https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2025/2024_noto_kenkai.pdf)
- 14) 内閣府 (2025). 『令和 7 年版 防災白書 特集 第 1 章 第 1 節 令和 6 年能登半島地震の概要と被害状況』. 内閣府. [https://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/r07/honbun/t1\\_1s\\_01\\_00.html](https://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/r07/honbun/t1_1s_01_00.html)
- 15) 気象庁金沢地方気象台 (2024). 令和 6 年能登半島地震の地震活動と防災事項. 気象庁金沢地方気象台. <https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/shosai/notojishinportal.html>